生物多様性とは何か。それは私たちの生活にどのように結びついているのか。また、生物多様性を保つためにどのような取り組みが必要と考えるかについてあなたの意見を述べよ(500字)。

生物多様性とは、地球には様々な種類の生物が存在しており、全ての生物が生命の環を成していることをいう。生物多様性にもホットスポットが存在し、例えば、ブラジルのジャングルには約2万の植物、1350種の脊椎動物、数百万の昆虫がいるという。また、日本列島もホットスポットの一つである。

一見、生物多様性は私たちの生活とは関係ないように見える。しかし、生物多様性は人類にとっての資源であるという考え方が普及している。例えば、薬品の抗生物質や産業用の酵素は生物を利用して作られるし、新薬の研究の素材の供給源として注目されている。また、人類は多様な生物を食用に用い、発酵食品のように菌類さえ利用してきた歴史がある。

しかし、この生物多様性は森林の伐採による生息地の消滅や外来種の導入による在来種の減少のように危機にさらされている。そこで、生物多様性に関する条約やラムサール条約による湿地などの保全、ワシントン条約による絶滅危惧種の指定と保護など地球規模の取り組みがされている。また、日本でも生物多様性基本法が施行され、国、自治体、事業者、国民が環境保全計画を進めることになっている。

私は生物多様性を守るための体制としてはまだ不十分だと考える。現在でも希少な生物が減り続けているという現実があるからだ。希少な生物を保護することはもちろん、人間の側から環境を創造していくことが必要だ。具体的には、100年単位で森林や湿地などを復元するようなプロジェクトを推進すべきだと考える。